

90歳でひとり暮らしのYさんとの出会いは…

生きる力と 向きあつて 現場通信17

ならやま診療所師長 保高芳子さん・看護主任 中川真妃留さん



平城第二団地 (1977年入居開始)

大家族として暮らすうちに家族間の感情が荒々しくなる。戸建ても多いが階段を昇降できず息子がおんぶ

90歳で一人暮らしのYさんとの出会いは、ならやま診療所通院患者さんからの連絡でした。「団地内で転倒しているのが発見され、心配だから往診を！」とのこと。何と、血圧は200以上・心不全の所見もある。至急入院治療を！とすすめたが、「絶対に嫌！」「死んでもよい」と拒否されました。

名古屋に住む息子夫妻と連絡を取り、Yさんの意思を尊重して自宅療養となりました。ケアマネジャーに介入してもらい、要介護認定の申請から依頼しました。4回目の往診



診療所スタッフと(後列中央が保高師長、前列右が中川主任)

日に自宅で転倒。下肢の痛みで動けず、トイレにも行けません。それでも入院は断固拒否。翌日、Yさんが「入院してもよいかな？」と言っている、と連絡があり、訪問看護の協力を得てようやく入院となりました。このように、開発40年近くとなる高の原地区は、典型的な高齢化地域となってきました。例えば、独居で転倒を繰り返す方・老夫婦ふたり暮らしでどちらかが認知症又、夫婦共に病気で動けなくなると、子供が希望して両親を呼び同居しても、

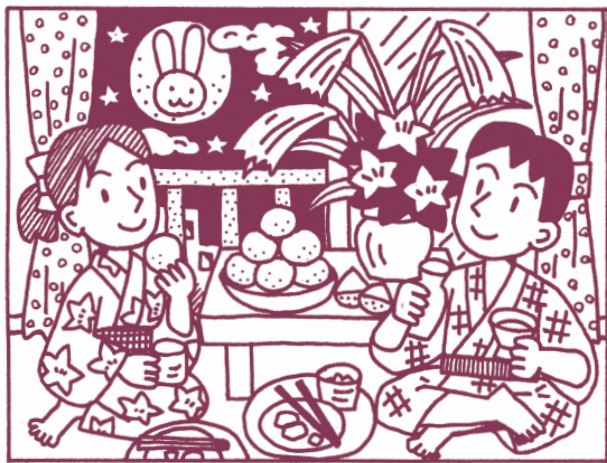


大家族として暮らすうちに家族間の感情が荒々しくなる。戸建ても多いが階段を昇降できず息子がおんぶ

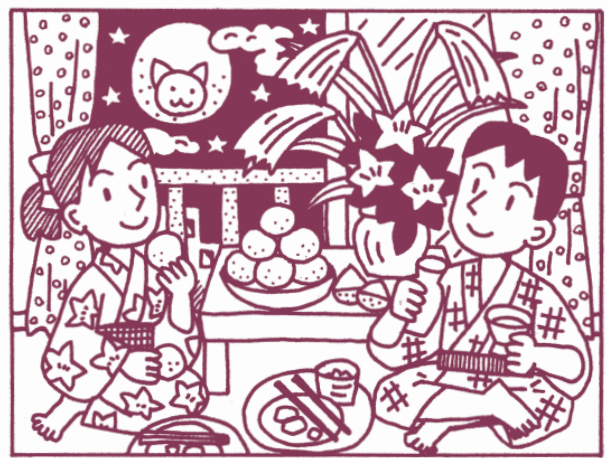
まちがいさがし

10名の方に

正解者の中から図書カード(500円)を進呈



まちがい7つ



昭和の奈良大和路、入江泰吉の本を見た。昭和20〜30年ごろの奈良の農村風景は何か魅



「家族のみなさんと一緒に、まちがいさがしに挑戦してください。ご応募お待ちしております。」

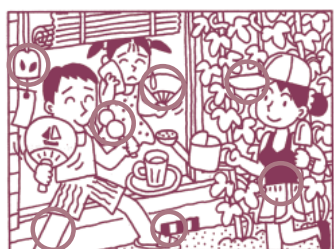
下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。

「身近に考えたいメンタルヘルス」その人ひとりに。患者さんの心に寄りそった温かいまなざしが伝わってきました。

「前回の当選者」吉田 芳子(右京) 橋口 茂守(二色) 奥野 綾子(西大寺芝町) 寺田 政子(三松) 佐藤 尚子(学園南) 藤田 利清(生駒市) 中田由美子(精華町) 田中 優子(朱雀) 早川 フク(宇治市) 稲葉 悦子(朝日町)

「支部だより」等、時折友人の記事等載っている、頼がゆるみます。「かんたんクッキング」も楽しい記事です。サークルの活動記事にも興味があります。

読者の声



「へいわと健康」『友の会だより』

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

た。もちろん、以前から空調なしです。 学園南 佐藤 尚子 胃がんの手術を受けてから4年になります。今、食事も普通です。元気です。今年も健康診断に行きます。

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます

「積極的に健診を受ける人が健康ですね」この言葉は本当に説得力あります。何もしないで、症状が出たから受診したら遅かったというケースはよく聞きます